

加しき 広報

全ご家庭にもれなく配布

加治木町を美しく

1. ちらさない
2. よごさない
3. こわさない

人口の動き

昭和39年(2月1日現在)

世帯数	4,937
人口	19,528人
男	9,112人
女	10,416人

出生	28
死亡	13
転入	98
転出	70

住みよい町づくり

◇環境衛生

環境とは、自分の住居から向う三軒両隣り、広いえば部落と言う事になりましよう。

衛生とは申すまでもなく、清く純白で垢がなく新鮮で綺麗なことでしよう。

故に、環境衛生は非常に社会国民に莫大な影響をあたえるものです。

衛生優なれば、われら国民の生命が長く保たれ、反対に悪ければ不幸にして生命を短縮され悲惨な境遇にも落ち入ることになり、環境衛生の必要性は誠に大なり、その価値を有効ならしむにはお互いわれらが各々責任を以て心がけるべきでしよう。

その方法としては、人間に有害なる細菌の繁殖を撲滅する事です。細菌は如何なる所に発生するか、一口に言えば不潔な物、腐敗物、多少湿気ある温地糖分ある物に発生します。大きき、形は細菌の種類により異り、肉眼では明視出来ません。この細菌の発生を防ぐには、先づ物を清潔に

2月末に町環境衛生大会

町民こそぞつて参加しよう

加治木町が、新生活運動の一環として、健康な家庭生活から、カとヘエのいないな部活づくり運動を目指し、町民の自主運動を提唱したのは、昭和31年だった。その頃の町内での環境衛生運動は、自主的なものではなく見られず、端山部落を中心に、僅かな部落が真剣な活動をしては、行政指導の面から、各部落の活動組織として、衛生(保健)部の設置を盛んに進めてきたが、運動の考え方、進め方など、それぞれの部落の地理的、経済的条件によつて、運動を進める上での手段方法についても議論百出で、当時の行政担当者や部落振興会長さんなどの苦勞はあつたが、この運動がお互いにお互いのために、お互いの力で立ち上ろうとする自主運動であることが理解され、昭和34年3月6日に、町内各部落各戸を一丸とした町衛生協会の発足に現在に及んでいる。

今年、あと二日余りにして東京オリンピックを迎えるが、私達はこれを契機に、日本の正しい姿を全世界に示すために、今国土美化運動が全国的に展開されている。

この時に当り、町と町衛生協会が一体となつて、第一回環境衛生大会(優良清潔家庭表彰やネズミ退治の個人、部落表彰も)を来る2月末日(予定)盛大に開催することになったので、本紙は環境衛生運動の飛躍的發展を心から期待して、町衛生協会長の手もとに寄せられた原稿を資料に、環境衛生特集号として編集することにした(編集子中元)

して、不潔、不純物、腐敗物をなくする事が肝要です。この細菌が人体内に入ると、その種類により各種の病気を起こします。この恐ろしい細菌がどうして人体に入るか、簡単に申せば

- 一、飲食物で口から
- 二、皮膚から
- 三、外の動物、殊に昆虫の口器から挿入される。昆虫とは、蚊、蚊、のみに、しらみで最も重大な被害をあたえる「ハエ」と「カ」です。これらは

種類が多く、我等の周囲にいる家バエは飛翔力はわずかに十米位で止まり又飛びます。蚊は物に附着するよう構成され口は物をなめるようにできている。「ハエ」の口や蚊の口は、これを人体や食物につけて体内に送り込み病原となるのです。「蚊」は一匹で一ヶ月一万の仔虫を繁殖させるもので、年中棲息卵から繁殖する、とり小屋、堆肥場等産卵する一方、新しい墓地をきめて、公園のような所に必要があり。少し遠くなるのも已むを得ないと思つて一坪位いづつ皆さんで買つていただくことになりましょう。町のまわりの山は岩石です。一寸不適です。そうなる何処にするか、どこか上場方面というところにもなり兼ねますが、現在下場にお墓をもつて居られる方々はもう、上場方面の方々はもう了解を得るのにも容易でない上相当な経費と年月を要するであろうと思つて。しかし、誰かがしなくてはならない仕事です。時間をかけて検討したいと思つて。

たします。是非冬の間に絶滅したいものです。蚊にもいろいろ種類があるが、「ハエ」と同様羽根が二枚しかないから遠方まで飛ばせません。「蚊」の卵は水中、特に腐れた水です。水溜りや、なくすれば撲滅可能です。雄の蚊は大低山にいて植物の液汁を吸うて生活し雌は人畜の血液を吸うて生活し「ハエ」は「ハエ」は口器が多少違います。「ハエ」は口器が多少違います。一度口器

を刺して吸いまた、二度三度場所をかえて吸うて吸いつぱいになれば体を安眠にする。病人の血を健康な人に注射する役もすることがあるから誠に危険です。「ハマダラカ」はマラリヤを、夜出てくるイエカ類は「ヒラリヤ」「小児マヒ」その他の伝染病を運ぶ「ノミ」や「シラミ」のことは略しますが環境衛生の徹底は急務で、明日と云わず今日からすぐ自分の周囲を見廻

つてみましょう。そして害虫のいないな住みよい健康で長生きをする環境を作りましょう(小田原真)

埋蔵文化財鑑定

2月29日町公民館で町では、昭和35年4月文化財保護条例をつくり、町内の史跡や加治木刀、古文書の指定を行なひ顕彰に努力してまいりますが、来る2月29日、午前10時から町公民館会議室で、郷土の先人の生活の実態、文化の発達段階の資料を得るため、すでに発掘された(出土品)埋蔵文化財を所有されてる方々の御協力をいただき、調査鑑定を行なうことになりました。

所有されている方はこの機会に出品してください。受け付けは当日午前9時から午前10時まで。

審査員は県文化財専門委員の川口先生(玉竜高校教諭)。

町公民館

汚物の始末

町公民館

環境衛生の問題

町長 曾木隆輝

三、隔離病室

伝染病室に近代的なものは是非必要です。これも便利のよい所にもうけることがのぞまれていいます。

四、し尿処理場

痛切な問題です。私は始良町、蒲生町に呼びかけ一応三ヶ所が溝辺町も入れてくれれば町で造り込めたいと思つて、このこと、目下始良町役場で計画をすすめてもらつています。昭和四十年に完成を見込んでいますが、来年度からやる積りで仕事だけはかかつてもらうようお願いしてあります。

五、塵芥処理

これは前のと同様ですね。各町合同のものと同様です。片ずいてからのこととしました。それまでは町自体で出来るだけの事はつくすことしたいと思います。

六、下水道

下水道のことも厚生省や県とも相談してあります。金もそれほど五、六千万円はかかりませんが、困つたことと本町の特に、市街地は少し掘れば水が出るほど水位が高いのでやつかい。又海にもつてゆく海水がよごれて海

環境とは、自分の住居から向う三軒両隣り、広いえば部落と言う事になりましよう。

衛生とは申すまでもなく、清く純白で垢がなく新鮮で綺麗なことでしよう。

故に、環境衛生は非常に社会国民に莫大な影響をあたえるものです。

衛生優なれば、われら国民の生命が長く保たれ、反対に悪ければ不幸にして生命を短縮され悲惨な境遇にも落ち入ることになり、環境衛生の必要性は誠に大なり、その価値を有効ならしむにはお互いわれらが各々責任を以て心がけるべきでしよう。

その方法としては、人間に有害なる細菌の繁殖を撲滅する事です。細菌は如何なる所に発生するか、一口に言えば不潔な物、腐敗物、多少湿気ある温地糖分ある物に発生します。大きき、形は細菌の種類により異り、肉眼では明視出来ません。この細菌の発生を防ぐには、先づ物を清潔に

町長 曾木隆輝

方から文句が出そうです。そこでとりあえず排水施設を、つまり側溝をととのえて行くこと位を金のゆるす限りやつて行くよりしかたがないように思つて。厚生省の方でも相当金をつぎ込む予裕があれば補助もしてもらえらると思つて、このこと、目下始良町役場で計画をすすめてもらつています。昭和四十年に完成を見込んでいますが、来年度からやる積りで仕事だけはかかつてもらうようお願いしてあります。

町長 曾木隆輝

町民の方々から係員も見えました。各町村長で補助などお願いしてあります。

町長 曾木隆輝

町民の方々から係員も見えました。各町村長で補助などお願いしてあります。

町長 曾木隆輝

町民の方々から係員も見えました。各町村長で補助などお願いしてあります。

以下二面へ

手を結び腕を組んで

サア!! 実践

町内各部落では環境衛生に留意され、本年度の「ハエ」と「蚊」の駆除については、先づ良好の成績だと思えます。先般、町衛生協会の理事等が、保健所の山下衛生課長、町の福祉課長を中心に環境衛生の諸問題について話し合いをいたしましたので、その時の模様や視察の状況についてお知らせいたします。

環境衛生

① 出来るだけ迅速にゴミを集めてほしい。
 ● ゴミをよくより分けて焼けるものは焼き、紙類は売却し、台所のゴミは家畜の飼料等に利用し、なるべくゴミを少くしましょう。
 ● 勝手に河川やその附近に捨てないこと。
 ● 尿処理の問題
 ● 汲り取り水が町民の間でし尿を溝や川に捨てる人がある。絶対にやめましょう。
 ● 近年中にし尿処理場が出来ると、町長も努力している。

食品衛生

許可制の業者の施設は、非引き揚げて、衣食住にあくせくしている間に夢のように月日は流れて、やつと落ちついたと思ふ頃でした。去る二十六年四月二十九日岩原西東から集団セキリが発生して避難舎へ隔離されると言うさわざが起りました。

環境衛生と

その後環境衛生に留意し、食之と病気の使者である蚊とハエの撲滅をせねばと口には言いながら、なかなか実行に移すことは困難でした。去る三十五年部落総会の話し合いでいよいよ一斉薬剤散布実施を決めました。毎月各戸より衛生費として三十円を最高とし家の大小によりそれ

私達の部落

常によくならず、他町村より良好だが、小売店の衛生思想の向上を望む。
 ① 水に浸して売る品物等は、街路から来るホコリ等に十分に注意してください。
 ② お店で品物をはさんでお渡しになる道具や手を清潔にしてください。
 ③ 焼酎の季節になります。本県の最も衛生的悪習である、宴会等での洗盥しない献酬は今後やめましょう。
 ● 先進地視察の状況
 昨年十月十七日加治木支部役員と一緒に町衛生委員の希望者三十名で先進地を視察しました。その時の状況
 ① 川内市し尿処理場の見学。二千二百円で建設された科学処理で毎日二十七トンの汚物が完全に清水に変わってゆきます。一日も早く加治木にも立派なものが出来ることを望みます。
 ② 県が指定した環境衛生モデル部落の串木野市羽島部落。戸数一千戸、二十二班。熱心な衛生部長川野氏のご案内で、つばに部落の表裏すみずみまで見せて頂きましたが、ただホーホーと感心することばかり、外はどんな小

集団赤痢の発生とその結果

1月27日小山田地区において集団赤痢が発生し、24名中2名はなくなり、いたまじい事態が起りました。その発生状況と結果はつぎのとおりです。
 当町に集団赤痢の連絡があったのが、27日の夕刻で、当時患者11名で(内2名は26日に既に死亡)即日隔離のため人数や場所の関係を一時安国寺を仮收容所としたが、29日午前中患者を霧島伝染病棟に移送する事になり、患者18名(別に付添3名)の全員を護送いたしました。その後29日夕刻2名、30日2名と続発し

学校教育と環境衛生

加治木町小中学校は安全協会に加入し、児童生徒の疾病並びに健康生活の保障は勿論、正則の登校下校の保障を受けられるよう全員加入し年々平均五万円の支払を受けているのである。尚町内小中学校に養護婦を配置し、専任として職員児童生徒の養護面を担当し、学校医の指揮を受け、或は助力して、保健衛生に当っているのであるが、町内全小中学校に全員養護婦が配置されている町村は他に殆ど無い。本町の誇りであり、他に及ぶ教育界の龍鱗である。外に教育委員会は各小中学校に保健主事を設置して保健衛生に専ら関心を持ち其の責任と実践について児童生徒の保健生活に万全を期し、養護婦を指導助言し校医と連絡し町保健会の事務をたつて学校全体の健康教育に当らせている。然しこの個々の連絡を密にし、相協力し切磋琢磨して

さな道までも市の援助を得て部落民の奉仕で全部補装してあるし、その側溝にはゴミ一つありません。家の隅には小さな下水路が完備(コンクリート)し、外の側溝にはいるようになっていっている。古い家が多かつたが、どの家でも掃除が行き届いて、ピカピカで柱など光つていた。何年か続けられていた努力のあとがよく見える。かわいた水道は気持よく清潔にたてられ、お釜や鍋、食器類がどの家でもみがかきあげて日光消毒してある。鷹は毎週みんなで処理する(その方法は省略)。従って蚊も臭いもない。魚屋さんのぞいて見たら、アミ戸がなかく昔のままのあけつばなし、変に思つたが、その必要のない事に気付いて微笑を禁じ得なかつた。
 毎日、毎月、毎年を努力と奉仕、研究された部落一致の協力実行の賜であると心から敬服した。
 やるうと思えば必ずやれるものだ、理屈なしに小さい事からでも一つ一つ改善していつたらとつくづく思うことでした。
 皆さん私共も文化町を以つて自負している加治木町民です。そして皆さんの住んで居られる部落の住居の内外をじつと見てみましょう。
 したようです。これも皆さんの御協力の賜と感謝していただきます。
 各自が清掃の関心を深め、清潔な部落作りが実現されつつあることをうれしく思います。昨年保健所長さんより生活実践運動を中心とした環境作りについて表彰を受けました。一同恐縮いたしました。
 益々自重して環境衛生の実践に努力し、再び伝染病等の発生することのないよう、各家庭で社会教育的に、又家庭的に子ども時から、又家庭的により、町保健会との提携を唱えている三三三運動をより一層徹底していただきたいと念願して止みません。
 (有川ギキ)

明るい町づくりのために

一、塵芥処理について

昨年十月から町役場の機構が改正され、従来の保健衛生課と民生課が合併して福祉課となつたことは既に皆さんご承知のとおりです。私がその職を担当する事になり、今更ながらその職務の範囲と重大さに責任を痛感している次第です。特に福祉課関係については、全員の素人、課員も僅か年金の係を除きほとんど全部の者が始めての職場と来ているので、並大抵の努力では事務に追いつかない現状であります。衛生の面についても、更に迷惑をかけるのではなからうと憂いて居ります。しかしながら国民健康保険及び福祉関係と並んで衛生関係の業務も、また、ゆるがせに出さない大事な仕事であります。これら三つの柱を主軸として、今後努力する事になりまして、或は不行届きの点もあるかと存じますが以上の点ご了解の上今後共よりよくご協力賜るようお願いいたします。以下私の所見を申し上げます。

二、越冬害虫駆除について

蚊、蠅等の害虫駆除については、更に要望することは、掛声ばかりでなく、鳴物入りではやし立てるのでなく、実際に蚊と蠅のいない町を作りたものである。本年の如きは正月にも蚊が飛び廻りたかっていた。蚊の攻勢には学童がなやまされて居る。これがいなかつたら今少し子どもは体重が増し、全国平均に達するであろう。これは大人の協力と実践に俟つより外なく、子どもを取り巻く家庭の衛生環境を整理し、美化し、子供の体位の上を目指すと共に、来たるオリンピックが、交通道徳や、社交の貧困、或は暴力は勿論、殊に環境衛生の不備や、衛生思想の低下によつて、決して困辱オリンピックにならぬよう都市と地方とを問わず、国民総意を以つて美しい日本をお目にかけ国際的に貢献する私の奉仕であると思ふ所である。

環境衛生

昨年十月から町役場の機構が改正され、従来の保健衛生課と民生課が合併して福祉課となつたことは既に皆さんご承知のとおりです。私がその職を担当する事になり、今更ながらその職務の範囲と重大さに責任を痛感している次第です。特に福祉課関係については、全員の素人、課員も僅か年金の係を除きほとんど全部の者が始めての職場と来ているので、並大抵の努力では事務に追いつかない現状であります。衛生の面についても、更に迷惑をかけるのではなからうと憂いて居ります。しかしながら国民健康保険及び福祉関係と並んで衛生関係の業務も、また、ゆるがせに出さない大事な仕事であります。これら三つの柱を主軸として、今後努力する事になりまして、或は不行届きの点もあるかと存じますが以上の点ご了解の上今後共よりよくご協力賜るようお願いいたします。以下私の所見を申し上げます。

学校教育と環境衛生

加治木町小中学校は安全協会に加入し、児童生徒の疾病並びに健康生活の保障は勿論、正則の登校下校の保障を受けられるよう全員加入し年々平均五万円の支払を受けているのである。尚町内小中学校に養護婦を配置し、専任として職員児童生徒の養護面を担当し、学校医の指揮を受け、或は助力して、保健衛生に当っているのであるが、町内全小中学校に全員養護婦が配置されている町村は他に殆ど無い。本町の誇りであり、他に及ぶ教育界の龍鱗である。外に教育委員会は各小中学校に保健主事を設置して保健衛生に専ら関心を持ち其の責任と実践について児童生徒の保健生活に万全を期し、養護婦を指導助言し校医と連絡し町保健会の事務をたつて学校全体の健康教育に当らせている。然しこの個々の連絡を密にし、相協力し切磋琢磨して

集団赤痢の発生とその結果

1月27日小山田地区において集団赤痢が発生し、24名中2名はなくなり、いたまじい事態が起りました。その発生状況と結果はつぎのとおりです。
 当町に集団赤痢の連絡があったのが、27日の夕刻で、当時患者11名で(内2名は26日に既に既に死亡)即日隔離のため人数や場所の関係を一時安国寺を仮收容所としたが、29日午前中患者を霧島伝染病棟に移送する事になり、患者18名(別に付添3名)の全員を護送いたしました。その後29日夕刻2名、30日2名と続発し

環境衛生

昨年十月から町役場の機構が改正され、従来の保健衛生課と民生課が合併して福祉課となつたことは既に皆さんご承知のとおりです。私がその職を担当する事になり、今更ながらその職務の範囲と重大さに責任を痛感している次第です。特に福祉課関係については、全員の素人、課員も僅か年金の係を除きほとんど全部の者が始めての職場と来ているので、並大抵の努力では事務に追いつかない現状であります。衛生の面についても、更に迷惑をかけるのではなからうと憂いて居ります。しかしながら国民健康保険及び福祉関係と並んで衛生関係の業務も、また、ゆるがせに出さない大事な仕事であります。これら三つの柱を主軸として、今後努力する事になりまして、或は不行届きの点もあるかと存じますが以上の点ご了解の上今後共よりよくご協力賜るようお願いいたします。以下私の所見を申し上げます。

学校教育と環境衛生

加治木町小中学校は安全協会に加入し、児童生徒の疾病並びに健康生活の保障は勿論、正則の登校下校の保障を受けられるよう全員加入し年々平均五万円の支払を受けているのである。尚町内小中学校に養護婦を配置し、専任として職員児童生徒の養護面を担当し、学校医の指揮を受け、或は助力して、保健衛生に当っているのであるが、町内全小中学校に全員養護婦が配置されている町村は他に殆ど無い。本町の誇りであり、他に及ぶ教育界の龍鱗である。外に教育委員会は各小中学校に保健主事を設置して保健衛生に専ら関心を持ち其の責任と実践について児童生徒の保健生活に万全を期し、養護婦を指導助言し校医と連絡し町保健会の事務をたつて学校全体の健康教育に当らせている。然しこの個々の連絡を密にし、相協力し切磋琢磨して

は、夏季にはほとんどの家庭で色々な方法をもつて実施されていますが、仲々絶滅とはまじりません。そして残つた「蚊」「ハエ」は便所、押入、床下、物置等暖かい所で越冬しますが冬季にはうるさい程出て来ないので、意外に見逃して居るのが実状です。生き残つた「蚊」「ハエ」が産卵し春から夏にかけて猛威を振舞い始めにおおないことになります。だから冬の間に一匹残らず撲滅して下さい。今ならある場所に集中しているから駆除しやすいと思ひます。希望の部落には町で薬剤のあつせをいたしました。

一面より続くので、お蔭様で今日では自分でも愉快に思う程素晴らしい性能の無臭、無臭の改良便所が出来るといふことになりました。便所の扉を開放していても何んの臭いもしない。
 蚊は一匹も生息出来ない全部死滅してしまふ。さらに寄生虫まで死滅し、無菌の肥料と虫も。おまけに値段が安く工事が早く丈夫で何年使つても故障も起らない。便器の中は真暗で汚物も何も見えない。タンクは地下室で外からも何にも見えぬ、ネズミや雨水も入らぬ等、従来の難点を殆んど解決し世間の好評と感謝をいただいたに感謝して居ります。益々皆様も楽しい生活をしていただくために内容を向上し、価格の面など他の追随を許さぬ、ほこりを以て遠く新潟県や福岡市に設けられた代理店も活躍して居ります。
 近く東京都、広島県、熊本等にも特約の交渉があり、私の生命をかけた事業であり、国家に貢献する私の奉仕であると思ふ所である。
 次に、塵芥処理の事をお話し致します。町民の御批判を日皆様の前に実演して御批判を省かれます。